



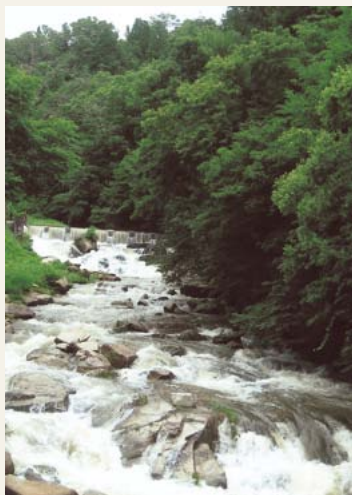
投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

蓮花
●山野上拓夢さん 平成25年7月
◎沼田東町釜山



梅雨明け近し、深緑 落合溪谷
●橋本澄子さん 平成25年7月
◎久井町坂井原



は〜い!! おやつ
●児玉勝昭さん 平成25年6月
◎三景園(本郷町善入寺)



瀬戸の夜明け
●松浦房子さん 平成25年6月
◎須波ハイツ三丁目

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 9日(月)(必着)

応募資格 市内に在住か通勤・通学の人

選考 秘書広報課で選考

※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真の返却は行いません。広報誌で紹介できな

った写真は、市ホームページへ掲載します。

申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。

音楽で笑顔あふれるまちへ

直美の部屋
代表 三好又子さん



月1回、無料の演奏会を開催し、7月に100回目を迎えた直美の部屋。始まりは、三原駅前にあったデパートのロビーに置かれていた一台のピアノからでした。「このピアノでクラシック演奏を気軽に聴けたらと仲間と話をしたのがきっかけです」。代表の三好又子さんはこう振り返ります。

無料で開くことに。会場設営やポスター作りはデパートや専門店が協力してくれました。一時はデパートの撤退で存続が危ぶまれましたが、個人や企業からの寄付金もあり続けられることになりました。

ピアノを所有する専門店の担当者に相談し、コンサートを

会場も現在の市民ギャラリーへ移り、今では気軽に生演奏を聴ける場として定着。「演奏者は演奏の場があることを喜んでくれ、市外から聴きにきてくれるファンも。だからこそ楽しく続けられるし、今後もずっと続けたい」とこやかに語ります。「みんなで三原を音楽のまちに」。そんな想いから始めた活動は、来年で10周年を迎えます。一台のピアノから始まった輪が、笑顔とともに広がっています。



▲100回記念に開かれた伊藤憲孝さんのピアノリサイタル「盲導犬チャリティコンサート」